



令和8年5月29日
政策統括官付
国土地理院

「ジオ AI 研究会 中間整理」を公表します！ ～ 地理空間情報×AI の融合の推進に向けて ～

内閣官房地理空間情報活用推進室及び国土交通省は、多様な分野の DX を支える地理空間(G 空間)情報の活用が広がる中、急速に進展する AI と融合(地理空間情報×AI)した取組を産学官で戦略的に加速するため、ジオ AI 研究会を立ち上げました。

今般、第1回から第4回までの研究会の議論を踏まえて、「ジオ AI 研究会 中間整理」がとりまとめられましたので、お知らせします。

本研究会では、地理空間情報とAIの融合を広義の概念として「ジオ AI」と定義し、全体の構造・思想を示すアーキテクチャの整理を行い、さらにジオ AI の推進に向けた課題と取組の方向性や産学官の連携・役割について議論を行いました。

<中間整理の主な内容>

ジオ AI は、防災・減災、都市計画・交通、不動産、インフラ維持管理、マーケティング、ロボティクス、観光・物流などのほか、分野横断で複合課題の同時解決や、フィジカル AI^{*1}にも貢献が見込まれます。

本中間整理では、以下の 5 つの観点から取組の方向性を整理しました。

(1)地理空間情報×AI

- ・地理空間情報を適切に処理する AI の開発・活用の検討
- ・ジオ AI のユースケース創出、基礎・共同研究の推進 等

(2)AI-Ready^{*2}なデータ整備

- ・地理空間情報のオープンデータ化、AI-Ready 化指針の策定
- ・公的地理空間情報の整備・更新・AI-Ready 化 等

(3)データ連携・流通基盤

- ・G 空間情報センターの AI 対応化
- ・「G 空間データスペース(仮称)」の形成 等

(4)ガバナンス

- ・信頼性担保、セキュリティ、プライバシー等に関する検討 等

(5)人材育成

- ・GIS と AI 分野の連携強化、コミュニティやイベントを活用した人材育成 等

※1:フィジカル AI:画像・音声・各種センサー等を統合して現実世界を理解し、ロボットや機械を通じて物理的な現場で自律的に判断・制御・行動する AI

※2:AI-Ready:データが AI の理解・活用しやすい形式(構造化データ、メタデータ付与等)になっていること

(添付資料)

別紙1 ジオ AI 研究会 中間整理概要

別紙2 構成員名簿

「中間整理」本文、過去の会議資料等については国土交通省ホームページにて公開しております。下記 URL より参照ください。

https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/tochi_fudousan_kensetsugyo tk17_000001_00072.html

〔問合せ先〕

国土交通省政策統括官付地理空間情報課 森岡、川井、久松

代表:03-5253-8111(内線 29-835、29-823、29-843)、直通:03-5253-8353

国土交通省国土地理院防災・地理空間情報企画センター地理空間情報企画課 山崎、宮之原

代表:03-5253-8111(内線 59-421、59-422)、直通:03-5253-8139